

富士のマルダイが製作

富士市大淵の住宅資材販売「マルダイ」で、来年のえとを巨大な看板に描く恒例の「正月飾り」の製作が佳境を迎えている。

正月飾りは縦4枚、横5・6枚。天井裏などに使う細長い角材の「野縁(のぶち)」4・20本をまとめ、下描きやペンキでの色付けを重ね、約4日間かけて1枚を仕上げる。今年、来年の未(ひつじ)年にちなみ、仲むつまじい親子3匹の羊や縁起物の松竹梅、富士山などを取り入れた。

製作に携わるのは、清水看板(同市中野)の清水信夫さん(76)と静枝さん(71)夫婦。今年で15年目。11月中旬ごろから県内外の工務店などから注文を受け

巨大看板に「ひつじ」



羊や縁起物が描かれた正月飾り

|| 富士市のマルダイ

付け、クリスマスごろまでに約15枚を仕上げるといふ。

正月飾りは、工務店などの店頭に掲げられ、新年を迎えた後に解体して建築用資材として使う。